健康と社会・生活



雷子版あり

●B5判 224頁 カラー 定価2,970円(本体2,700円+税10%) ISBN978-4-8404-8157-1 第6版 2024年1月

本書の内容

- ●大きく変動する現代社会のなかで、患者の生活を理解するためには看護職としての「ビジョン」が必須であることが強く意識でき る] 冊です。健康教育などで重要となる社会的な健康、科学からとらえた健康行動についての解説も充実しています。
- ●学生自身を含めた「個人の生活」から、集団・組織、家族、地域社会、国際社会へと、円を大きくするように視点を拡げていきま す。教科書を学び終わるころには、人の生活について、その人を取り巻く周辺の環境・社会全体まで含めて考えられるようにな
- ●第7章・第11章で、人々の生活・健康と切り離せない経済状況(健康格差)、労働環境、情報行動について解説します。11章で は、情報技術の発展による受診・療養環境の変化にも焦点をあて、患者の生活を紹介しています。
- 対立や葛藤、紛争といったコンフリクトを、協調、協働へと発展させる方法や提案を第4章「個人および集団における対立と協
- ●第12章には、生殖医療技術や遺伝子診断、再生医療、そして臓器移植と延命治療という、生命科学の進展により新たに登場し た技術と人間性の調和を考えるページを収載しています。

平野かよ子	宮崎県立看護大学名誉教授,湘南鎌倉医療大学特任教授	松宮	朝	愛知県立大学教育福祉学部教授
木多 敏田	淑徳大学コミュニティ政策学部教授			

執 筆(掲載順)

平野かよ子	宮崎県立看護大学名誉教授、湘南鎌倉医療大学特任教授 <序章、2章1・2・6・7節、5章>	廣水 乃生	茨城キリスト教大学文学部児童教育学科児童教育コース兼任講師、特定非営利活動法人友部コモンズ共同代表、ASD株式会社
本多 敏明	淑徳大学コミュニティ政策学部教授<1章>		代表理事<6章5~7節>
朝倉 隆司	滋賀医科大学大学院看護学専攻グローバル連携看護学特別教授	青柳 涼子	淑徳大学コミュニティ政策学部教授<8章1~3節>
	<2章3~5節,7章>	森川 夏乃	愛知県立大学教育福祉学部准教授<8章4~6節>
西脇 暢子	日本大学経済学部教授<3章1~3節>	松宮 朝	愛知県立大学教育福祉学部教授<9章>
佐藤 俊一	NPO法人スピリチュアルケア研究会ちば理事長<3章4節>	明石 純一	筑波大学人文社会系教授<10章1~6節>
石原 明子	熊本大学大学院人文社会科学研究部准教授<4章>	田代 順子	聖路加国際大学名誉教授<10章7節>
島内憲夫	広島国際大学客員教授,順天堂大学名誉教授<6章1~4節>	濱 雄亮	東京交通短期大学運輸科教授<11章>
		小林西津子	业里大学—船教育部教授<12音>

序章●看護と生活・社会と社会保障

健康・社会を念頭に置いたしくみの再構築/これから看護職を目指す者への期待

第1部●社会と生活者

「社会」を学ぶのは現場でのより良い実践のため/社会の構造を理解する/社会現象 の機能を理解する/戦後の日本社会の諸特徴/現代社会はどのような社会か/現代社 会の課題に看護はどう対応するか

第2章 中活と生活者

日常生活と日常性/多面的な日常生活のとらえ方/生活の諸相と生活の理論/QOL/ ライフスタイル・ライフコース・ライフステージ/対象者の生活の理解と把握/保健 医療専門職の生活をとらえる姿勢

第3章 集団・組織

構成員としての個人/集団/組織/これからの集団と組織/病院組織

第4章 個人および集団における対立と協働

さまざまなレベルでの対立・葛藤・紛争:コンフリクト/なぜ対立や葛藤(コンフリ クト) は起きるのか/対立から協働へ:建設的な対立・葛藤解決の方法/さまざまな 対話の方法/保健・医療・福祉の現場におけるコンフリクト

第5章 社会的な健康

健康とは:WHOの健康の定義/社会的健康とは/人々の安全・安寧が保障される社会

第6章●科学からとらえた健康行動:ヘルスプロモーション時代の中で Nルスプロモーション時代の到来/行動科学とは/行動の理解を助ける基本理論とモ デル/健康行動の理解を助ける理論とモデル/集団の中での人の行動特性/保健・医 療領域にみられる小集団の特徴:機能・効用/集団の形成と発展過程

第3部●社会の変化と健康

第7章 社会経済の変化と健康

社会経済構造の変化:前近代から産業革命、情報革命を経た今日/ライフスタイル・ 社会経済と健康格差/働き方(労働生活)と健康

家族とは何か/変容する社会と家族/家族のケア機能/ライフステージでみる家族の 課題/多様化する家族/家族のこれから

第9章 地域社会と健康

なぜ地域社会が重要なのか/地域社会の変容とコミュニティ

現代の国際社会:グローバリゼーション/グローバリゼーションの諸相:モノ・カ ネ・ヒト・情報の越境/グローバリゼーションについての解釈/日本における外国人 材の受け入れ/多文化化する社会への理解/SDGs/ユニバーサル・ヘルス・カバ レッジ (UHC)

第11章 情報社会の発展と健康

情報技術と社会/医療の世界における情報技術の活用の諸相/人々の情報行動・情報 技術の活用のあり方/現代の看護師に求められるメディアリテラシー

医療技術の発展と生命倫理/生殖医療技術の発展と生命倫理:着床前診断/生殖医療 技術の発展と生命倫理:出生前診断/発症前遺伝子診断の発展と生命倫理/再生医療 の発展と生命倫理/臓器移植と生命倫理/延命治療と生命倫理







ワークシートや設問で 自習・グループ学習に最適

> 重要な理論・概念を イラストで身近に

表2-3 私の一日の過ごし方:平日と休日(ワークシート)

素 2-2 私の口労生活の過ごし方 (ワークシート)

ライフライン:電気・水・ガス等

インターネット環境

生活時間, 健康管理 家財道具、防犯、火災予防等

掃除、ごみ出し

食材の購入 週押 後上付け

購入 洗濯 様い 布団干Ⅰ

合生活

住 居

清潔保持

水類・塩目

haaaaaaaaaaaaa

が欠けても組織にならないことから、組織の3要素と呼ばれる。 1 集団が組織になるとき バーナードの組織の定義と組織の3要素の優れた点は、集団と組 織は状況に応じてどちらにもなり得ることを示したことである. 仲 良し集団は、普段は一緒におしゃべりなどをして楽しんでいるだけ

共通目的、③コミュニケーションである. これらは、そのうちどれ

だが、例えば街中で困った人を見つけた場合、集団のメンバーは困っ ている人を助けるという共通目的をもち、その解決のためにそれぞ れが貢献意欲を発揮し、互いに意思疎通しながら解決にあたる。こ のときの仲良し集団はただの集団ではなく組織である ワークチー ムは本来であれば組織のはずだが、メンバーがただ一緒に働いてい るだけで、互いに協力したり、チームのために貢献しようとしなけ れば、ただのワークグループにすぎない、組織が組織であるために は、構成員にどのようにして3要素をもたせ、どのような方法でそ れを維持するかが課題となる。



p.64

2342

85mg/dL程度であった際に、それが上昇中の85mg/dLで あれば補食は不要、下降中の85mg/dLでかつそのあとに会議や移動があれ 測定器で単一時点の血糖値しか把握できなかったかつてとは異なり、常時接 続で継続的にグルコース値をモニタリングし、それを手軽なデバイスで確認 できるからである.

Bさんが朝に目を覚まして最初にすることは、血糖値を反 映しているグルコース値の確認である. といっても採血する

のではなく、体に着けた**センサー**にスマートフォンを近付け

この測定方法の利点は、測定の8時間前からのグルコー ス値の変動のグラフがスマートフォンで見られることである. また、現在グルコース値が上昇中なのか下降中なのか、その どちらでもないのかが矢印マークで表示されることである これは、糖分補給(以下、補食)などの対処が必要な「低血 糖」の基準値である70mg/dLを少し上回る値、例えば

p.44

■ Bさんの 1 日

て読み取るのである

1 記床

Bさんは慌ただしく食事をしながら、腰につけたポンプの設定を確認する. この口の朝食の練質量とその後の運動量がいつも通りなら設定はそのまま 違う場合はインスリンの増減が可能である。また、注射の形で一度に打つよ りも、長い時間をかけて徐々にインスリンを体内に入れるポンプのほうが人 体の自然なインスリン分泌に近い.

(学) 出勤

ポンプを確認しながら子どもの保育園の連絡帳アプリを操作し、軽く夕飯 の仕込みをしたBさんは、保育園を経由して職場に向かう、子どもから繰り 返し抱っこを要求され「低血糖気味かもしれない」と思ったときや、途中で 低血糖になるわけにはいかない大事な会議、顧客と立て続けに会う場合など には、念のためスマートフォンでグルコース値を確認する.

ちなみにこのモニターは、一定の低血糖や高血糖になるとアラームや振動 で知らせてくれる Bさんの場合 低血糖は感覚的にわかることが多い そ のため この機能によって血糖値の異常を知るのは 高血糖のときのほうが

□ 昼食

Bさんは、昼食の前にもグルコース値を確認した、この日は美食家の上司 が決めたお弁当を食べながらのランチミーティングがあったため摂取糖質量 が多く、かつ午後は会議の連続で全く体を動かさない見込みのため、グルコー ス値は正常だったものの、ポンプを操作してインスリンの追加打ちをした. しかし、結局血糖値が予想よりも高くなり、最後の会議の最中に高血糖を 知らせるアラームが鳴ってしまった.

事例で具体的に





●B5判 360頁 カラー 定価3,630円 (本体3,300円+税10%) ISBN978-4-8404-8466-4 第7版 2025年1月

雷子版あり

本書の内容

- ●看護職にとって欠かせない保健・福祉の概念・知識を簡潔に説き明かし、「個」だけでなく、「集団」「社会」の視点からも健康問題 を見る目を育てます。
- ●「総論」「方法論」「各論」の三部構成で広範な公衆衛生の世界をわかりやすく整理。「総論」では、公衆衛生の理念や歴史、現在の公 衆衛生システムの特徴など、基本的事項について明確に説明します。「方法論」では、疫学・統計の基本とその活用方法を掲載 し、「地域」「集団」などを対象とした公衆衛生活動の実践方法についても紹介します。「各論」では、親子・高齢者など対象別の関 わり方や、歯科保健・精神保健・学校保健・産業保健など分野別の公衆衛生を解説しています。
- ●券頭に調べ学習やまち歩き実習に活用できるワークページを設け、本文随所には看護につながる視点や統計データ等の考え方の ヒントを示しています。教科書を読んでただ覚えるだけでなく、学生自身が考える力を養う工夫を施しています。
- ●序章「なぜ看護者が公衆衛生を学ぶのか」や「障害者保健福祉」「食品保健」を章立てし、現代社会の動向に沿って新しいトピックス を反映しています。各章の重要なポイントがわかりやすいよう、図表を活用し簡潔に解説しています。

平野かよ子	宮崎県立看護大学名誉教授,湘南鎌倉医療大学特任教授	守田 孝恵	獨協医科大学特任教授
山田 和子	和歌山県立医科大学名誉教授,元 藍野大学医療保健学部看護学	福田 吉治	帝京大学大学院公衆衛生学研究科研究科長
	科特仟教授		

執 筆(掲載順)

平野かよ子	宮崎県立看護大学名誉教授,湘南鎌倉医療大学特任教授 〈序章,4章10節〉	鳩野 洋子	熊本保健科学大学公衆衛生看護学専攻科特任教授,九州大学名 誉教授<7章>
曽根 智史	国立保健医療科学院院長<1章,2章2節1,18章1節>	三浦 宏子	北海道医療大学歯学部特任教授<8章>
尾﨑 米厚	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野教授<2章1節>	金谷 泰宏	東海大学医学部医学科基盤診療学系臨床薬理学教授<9章1~3節>
福田 吉治	帝京大学大学院公衆衛生学研究科研究科長<2章2節2>	王子野麻代	元 日本医師会総合政策研究機構主任研究員 < 9章1~3節>
藤原 聡子	一般財団法人医療経済研究・社会福祉協会医療経済研究機構研	小西かおる	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授<9章4節>
	究員<2章2節3>	磯村 聰子	山口県健康福祉部健康増進課健康づくり班主任<10章>
近藤 克則	千葉大学予防医学センター健康まちづくり共同研究部門特任教授	河野 朋美	宮崎県立看護大学看護学部公衆衛生看護学分野准教授<11章>
	<2章2節3>	谷口 力夫	公益社団法人日本食品衛生協会技術参与<14章>
清水 習	宮崎公立大学人文学科准教授<2章2節4>	牛山 明	国立保健医療科学院生活環境研究部部長<15章1・3節>
阿彦 忠之	山形県病院事業局病院事業管理者<2章3節,13章>	秋葉 道宏	国立保健医療科学院特任研究員<15章2節>
奥田 博子	国立保健医療科学院統括研究官<2章4節,12章>	増田 貴則	国土技術政策総合研究所上下水道研究部浄水処理・水道防災シ
大木いずみ	埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科教授		ステム研究官<15章4節>
	<3章, 6章4節>	本間 義規	国立保健医療科学院建築・施設管理研究部部長<15章5節>
守田 孝恵	獨協医科大学特任教授<4章1·3·7節,10章>	山口 一郎	国立保健医療科学院生活環境研究部特任研究官<15章6節>
山田 和子	和歌山県立医科大学名誉教授,元 藍野大学医療保健学部看護学	中村富美子	沼津市立大岡中学校養護教諭<16章>
	科特任教授 < 4章2 · 4 · 5 · 8 · 9節,5章 >	五十嵐千代	東京工科大学医療保健学部看護学科教授,産業保健実践研究セ
前馬 理恵	和歌山県立医科大学保健看護学研究科 < 4章6節 >		ンター長<17章>
大木 幸子	杏林大学保健学部看護学科教授<6章1·2·3節>	田代順子	聖路加国際大学名誉教授<18章2·3節>

目次

第1部総 論

序章●なぜ看護者が公衆衛生を学ぶのか

私たちの暮らしと公衆衛生/公衆衛生とは

第1章 公衆衛生の歴史と理念

公衆衛生改善の歩み/公衆衛生とは何か/公衆衛生の理念/公衆衛生を学ぶ意義

第2章 公衆衛生の概念とシステム

日本の公衆衛生システムの全体像/社会における健康(健康のとらえ方)/公衆衛生 の推進体制/健康危機管理

第2部方法論

第3章 公衆衛生のものさし

集団の見方と健康指標/研究の方法/リスクファクター/スクリーニング/公衆衛生 活動における疫学/統計情報の収集と見方

第4章 公衆衛生活動のプロセス

保健師の活動の特徴/ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチとPDCA

サイクル/地域診断(地区診断)の意義と活用/家庭訪問の意義と活用/健康診査 (健診)・検診の意義と活用/健康教育の意義と活用/健康相談の意義と活用/ネッ トワークの意義と活用/グループ・地域組織の育成・支援/地域での保健師の役割

第3部各論

第5章●親子保健 親子保健とは/現在の親と子に対する施策/地域母子保健対策の体系/親子保健にお ける保健師の役割と特徴/健康課題と支援のポイント

第6章 生活習慣病とがん対策

健康づくり対策/健康に影響を与える生活習慣/生活習慣病対策・課題と保健活動/ がん対策・予防と支援

第7章 高齢者保健医療福祉

高齢者保健とは/高齢者を支えるシステム・制度/地域における活動の実際

歯科保健とは/歯科保健の現状/歯科保健対策・課題と保健活動



歴史から近年の動

p.21

が終えられていった。また、1971年には環境庁が設置 1 環境保健とは て包括的に対応していくこととなった。1993 (平成5) 法に代わり環境基本法が制定され、環境の保全に関する) 理線保健は 人間の健康と直接関連する環境専用に依占を当てた公衆衛生の 環界保護は、人間の環境と直接関連する場項委員に議会会当てた公宗衛士の 分野である。これには大気、水質、土壌の汚染、化学物質への曝露、生物学的 要因など参岐にわたる要素が含まれる。本意ではこれら環境因子の実態、曝露 状況を把握し、それらに基づく健康への影響を評価することが重要であること を定め、施策を総合的かつ計画的に推進し、国民の健康 るための法律として施行された、環境庁は、2001 するための課年して場行された、周期庁は、2001年の 報音となった。 22 <u>20年の 別時</u> 翌年1、人の機能と対する影響だけでなく、危険の生態 非規則の可能に対しても最も少能しており、このちらかり ことが重要であり、対理時間間への場合の音をりかく、代学物質質がリスケ解色と、より様に小園中屋が近に深 でしなってまり、本地理環境と、周辺単位が近に深 を示す的しい者とかして、プラネタリーへみて、(Glanter かれている。民党の影響では、保険の予修機関制器 習慣を任金期に第日されてまたが、プラネタリーへみて、 は成らか地球無関係をとらえることが表するとされた 1 環境保健の歩み 1 一戦後から平成までの参み (後15-1) 日本では、戦後復興的しま作の参与 (後15-1) 日本では、戦後復興的し工能での過程で1950年代後 1950年代後 1950年代後 視点から地球環境全体をとらえることが重要であるとされ

61 平代後半 多くの公害事例が発生 70年代 特に、**四大公害病**による被害大 半から1970年代にかけて多くの公害事例が起こり、住 Pにも健康被害が生じた それらの中でも特定の始減 森 新潟水保森 イタイイタイ森 四日市ザルチくの 大公害病である (図15-1). これらの発生を経て 67 (昭和42) 年には公害対策基本法, さらに大気

難病対策とは/難病対策の歩み/難病に対する医療体制/難病対策・健康課題と保健活動

精神保健福祉とは/精神保健福祉を取り巻く法・制度/主な疾患の特徴と保健活動の

障害者保健福祉とは/障害者総合支援法/障害福祉サービスの内容と利用までの流れ

災害時の保健対策・課題と保健活動/災害時の地域における健康課題と保健活動/平

感染症に関する基本的な知識/感染症対策のシステム/主な感染症の特徴と近年の動向

第10章 制神保健福祉

第11章●障害者保健福祉

常時の対策・課題と保健活動

第12章 災害対策

第13音●咸染症対策

/ 障害者保健の現状/障害者の健康課題と支援のポイント

による飯格な規制によるところが大きい、しかし、工業技術の進展に伴い、大 気中の微粒子状物質 (PM2-5)、水中(海中)のマイクロプラスチックやナノ マテリアルなど、これまでは見られなかった物質等の拡散防止については、引 き続き、国際機関、国、自治体が連携して取り組まねばならない問題である。 ■ 健康日本21 (第三次) における環境の日標

健康日本21 (第三次) において、国民の健康増進に関する基本的な方向と にないにも明知があった。 に対して、「社会環境の質の向上」が示されている。社会環境の質の向上が重視さ れる背景としては、健康の社会環境モデル (⇒p.49図2-10) が広く認識さ

食品保健とは/食の安全確保のしくみ・法律/食品の表示と分類/食中毒の種類と予防

環境保健とは/人の健康と地球環境の問題/廃棄物/水道/居住環境/放射線・放射

第16章 学校保健

学校保健とは/児童生徒の健康状態/学校保健の活動/学校保健安全法に基づく活動 /学校給食/養護教諭の役割

第17章 產業保健

産業保健とは/産業保健を取り巻く法律/業務上疾病 (職業性疾病)/産業保健看護

調べ学習やまち歩き実習に 活用できるワークページ 4 食中毒の種類と予防 1 食中毒の発生状況 食中毒統計によると、日本の食中毒事件数は1998 (平成10) 年をピークに 減少し、2021 (令和3) 年の717件を最小値として、以降は増加傾向が認め られる。2017年以降、食中毒患者数は減少傾向となり、2022年には初めて 1 万人を下回ったが、2023年に再び増加へ転じている。 けとんどの会由表 (約909(以上) の原田物質け 会旦を活為する細菌 ウ はこれこの資中等(約50万以上)の原因物質は、貧田を行来する期間、ケイルス、寄生虫等の有害微生物である。2023年の全国食中毒統計によると、 病因物質別の食中毒事件数(1,021件)の内訳では、多い順にアニサキス、カ

2 食中毒の病因物質による分類 食中毒は主に、細菌、ウイルス、寄生虫、自然毒および化学物質の五つの病 因物質によって分けられる。主な病因物質と原因食品等を表14-1に示す。 ●細菌性食中毒 感染型食中毒は、原因菌が付着した飲食物を摂取すること 一般的には腸管内で原因菌が増殖して起こる食中毒である。 毒素型食

中書は 原因菌が食品中で増殖する際に香素を産生し、この香素を飲食物 とともに摂取することで起こる食中毒である。

ンピロバクター、ノロウイルスであった。食中毒患者数 (11,803人) では、 ノロウイルス、カンピロバクター・ジェジュニ/フリ、ウエルシュ菌、サルモ ネラ属菌の順であった (図14-6)、事件数が少ないにもかかわらず患者数が

多いということは、その病因物質が大規模な食中毒を引き起こしやすいことを

図14-6 全国森田物質別余中南事件数と事者数

このように、地球温暖化や環境破壊が人々の命や健康を直接脅かすこととなるため、機康で持続可能な社会を実現するためには、プラネタリーヘルスの視点が重要である。

環境保健の主要な日的は、国民の健康を守り、持続可能な社会を実現するこ とである。近年では四大公害病のような大きな被害をもたらす公害問題は顕在 化していないが、それは、大気汚染、水質汚染、土壌汚染等に関して、法律等

第15章 環境保健

職の活動

第18音●国際保健

諸外国の公衆衛生政策/国際保健とは/国際的な保健機関の活動(WHO,国際連合)

統計データ等の

考え方のヒントを掲載

公衆衛生

社会福祉と社会保障

社会福祉と社会保障



雷子版あり

●B5判 304頁 カラー 定価3,300円(本体3,000円+税10%) ISBN978-4-8404-8467-1 第7版 2025年1月

本書の内容

- ●一人の生活者として押さえておきたい社会福祉や社会保障の知識を収載。歴史や理念から、制度の概要、実践方法まで、オール ラウンドに学ぶことができます。
- ●巻頭で、「看護学生1年生」の私と家族、家族の暮らすまちに住む人々がどのような社会福祉や社会保障の制度に関わっているか をイラストを用いて紹介。制度の活用が身近に感じ、学生の興味・関心につなげます。
- ●法制度の改正や最新の統計データを反映するとともに、孤立・孤独の問題、こども家庭庁をはじめとする子どもに対する施策、 認知症基本法など、変化の激しい社会状況への対策や課題を取り上げます。
- ●患者のケースを取り上げ、障害・疾患を抱えながら社会とのつながりをもって生きるということを、具体的に知ることができま す。また、実在のALS患者の現在を追いながら、リアルなメッセージを紹介しています。

増田	雅暢	增田社会保障研究所代表,東京通信大学名誉教授	平野かよ子	宮崎県立看護大学名誉教授,	湘南鎌倉医療大学特任教授
島田	美喜	社会福祉法人至誠学舎立川 至誠児童福祉研究所副所長			

■ 執	筆(掲	載順)		
島田	美喜	社会福祉法人至誠学舎立川 至誠児童福祉研究所副所長 <図解 身近な生活の社会福祉や社会保障>	内田 宏明 大塚 晃	
平野カ	かよ子	宮崎県立看護大学名誉教授,湘南鎌倉医療大学特任教授<序章>	内藤佳津雄	日本大学文理学部心理学科教授 < 5章3節 >
岩崎	晋也	法政大学現代福祉学部教授<1章>	岡部 卓	新潟医療福祉大学心理・福祉学部社会福祉学科特任教授、
増田	雅暢	增田社会保障研究所代表,東京通信大学名誉教授<2章>		東京都立大学名誉教授<6章>
渡辺	裕美	東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科教授	原田啓一郎	駒澤大学法学部法律学科教授<7章1·2節>
		<3章1·2·3節>	石田 道彦	金沢大学人間社会学域法学類教授<7章3・4・5節>
村井	祐一	田園調布学園大学副学長・人間福祉学教授<3章4節>	土屋葉	愛知大学文学部人文社会学科教授<8章1節>
秋山	智久	福祉哲学研究所所長,元 大阪市立大学教授<3章5節>	田中恵美子	- 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科教授 < 8章2節 >
佐藤	信人	コミュニティオーガニゼーション研究所所長,元 武蔵野大学教授		

序章●なぜ看護者は社会福祉や社会保障を学ぶのか

第1章 ●現代社会と社会福祉

生活を支える三つのしくみ/社会福祉の役割/社会福祉の方法

第2章●社会保障の動向

社会保障とは/社会保障の歴史/社会福祉をめぐる新たな課題

社会福祉サービスの体系と提供組織/社会福祉の担い手と役割/社会福祉と看護の連 携/社会資源の活用方法/社会福祉実践

地域福祉の理念と定義/地域福祉計画/地域福祉推進を支えるもの/地域共生社会へ

第5章 対象別にみた社会福祉

子ども・家庭の福祉/障害児・者の福祉/高齢者の福祉

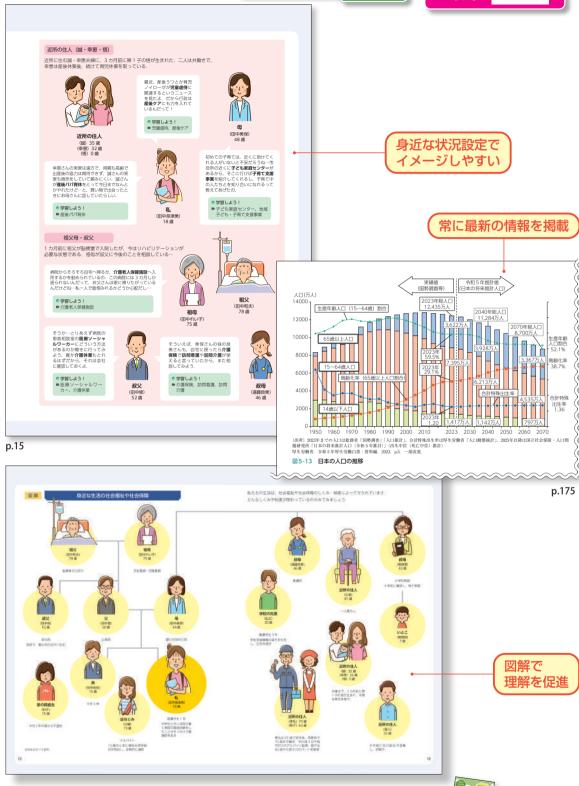
第6章●貧困に対する支援

公的扶助制度/生活保護における生活保障/生活困窮者対策と生活保護制度の見直し /その他の低所得者対策

第7章●社会保険

年金制度/医療保険制度/介護保険制度/雇用保険制度/労災保険制度

地域で生活するということ/事例に学ぶ:社会とのつながりをもって生きるALS患者



おすすめ 副読本

「これで突破!社会保障&関係法規」 詳細は P.124へ

社会保障 関係法規

4

看護をめ

ぐる法と制度

看護をめぐる法と制度



●B5判 約384頁 カラー 予価3,300円 (本体3,000円+税10%) ISBN978-4-8404-8769-6 第7版 2026年1月

本書の内容

- ●掲載する法律を厳選し、図表化や動画コンテンツの活用などにより、コンパクト化を実現。各法律のイメージイラストも多数掲 載、より身近に使っていただける一冊となっています。
- ●表現を徹底的に検討し、法律の解説としての正しさを保ちながらも、難解な法律用語を用いずにわかりやすく解説しています。 用語解説やplus α なども充実、学びをサポートします。
- ●多職種連携の時代に、看護師が他職種と法的にどのような業務連携・業務分担をするのかを理解しやすいように、資格法ごとに 細やかに解説しています。
- ●看護師の業務と法制度がどのように関わっているのか、一目でわかるイラストMAPを巻頭に設けました。初学者が抱きがちな 疑問をまとめたQ&Aも掲載しています。
- ●「トピックス |ページでは、「自殺対策基本法 | 「オーバードーズ | など、近年改正された法律や重要キーワードなどを短いセンテン スでまとめているので、法制度のトレンドを手軽に知ることができます。
- ●第217回国会(2025年6月閉会)までの法改正を反映し、内容を更新しています。

編	集
---	---

平林	勝政	國學院大學名誉教授	和泉澤千恵	北九州市立大学法学部法律学科准教授
小西	知世	明治大学法学部教授	西田 幸典	神奈川工科大学健康医療科学部看護学科教授

小西 知世	明治大学法学部教授	西田 辛典	神奈川工科大学健康医療科学部看護学科教授			
■ 執 筆 (掲載順)						
川村佐和子	東京都医学総合研究所社会健康医学センター難病ケア看護ユニット客員研究員<多職種連携時代に求められる「新しい」看護と法のテキスト>	宮下 毅 上之園佳子 神坂 亮一	文教大学人間科学部教授<3章2節1,5章2節4·5> 元日本大学文理学部社会福祉学科特任教授<3章2節2> 川村学園女子大学生活創造学部生活文化学科兼任講師、明治大			
小西 知世	明治大学法学部教授<特設,3章1節3,4章2節6,7章>		学法学部 ELM 客員研究員 < 3章3節1,6章5節 >			
平林 勝政	國學院大學名誉教授 <1章,3章1節3·7·9·10,3章3節2,8章>	井上 悠輔 原田啓一郎	京都大学大学院医学研究科医療倫理学分野教授<4章2節3~5> 駒澤大学法学部法律学科教授<5章1節1~3>			
佐藤雄一郎	東京学芸大学教育学部教授	小西 啓文	明治大学法学部教授<5章1節4>			
	<2章, 4章2節1·2, 6章1節, 6章2節1~4>	石嶋 舞	ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン法学部研究員			
酒井美絵子	武蔵野大学看護学部看護学科教授		<5章2節1・6~10>			
	<3章1節1(序文,看護師),5章2節15·18>	本田 まり	芝浦工業大学工学部教授 < 5章 2節 2 >			
菅原 京子	長岡崇徳大学看護学部看護学科教授<3章1節1(保健師)>	永水 裕子	桃山学院大学法学部教授 < 5章2節3 · 11 ~ 14 >			
岡本喜代子	公益財団法人東京都助産師会館理事長<3章1節1(助産師)>	渡部 朗子	名古屋市立大学大学院人間文化研究科・人文社会学部准教授			
峯川 浩子	常葉大学法学部法律学科教授<3章1節2,5章2節16·17>		<6章2節5~7>			
柴野 荘一	医療創生大学歯科衛生専門学校歯科衛生第Ⅱ学科教務主任/医	千葉 華月	北海学園大学法学部教授<6章3節>			
	療創生大学国際看護学部看護学科兼任講師	藤原 静雄	中央大学名誉教授 < 6章4節 >			
	<3章1節4・14・15>	堀部 政男	一橋大学名誉教授<6章4節>			
十万佐知子	武庫川女子大学薬学部講師<3章1節5,4章1節>	横野 恵	早稲田大学社会科学部准教授<6章6節>			
和泉澤千恵	北九州市立大学法学部法律学科准教授	朴 孝淑	神奈川大学法学部准教授<6章7節>			
	<3章1節6・10・11・13,4章1節,4章2節7>	谷田川知恵	東京慈恵会医科大学非常勤講師<6章8節>			
仙波 浩幸	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部理学療法学専攻長,教授	長島 光一	帝京大学法学部准教授<6章9節>			
	<3章1節8>	瀬戸山晃一	京都府立医科大学大学院医学研究科医学生命倫理学教授			
西田 幸典	神奈川工科大学健康医療科学部看護学科教授<3章1節12>		<9章序文·1節·2節>			
李 庸吉	大阪市立大学人権問題研究センター特別研究員 <3章1節16>	一家綱邦	国立がん研究センター研究支援センター生命倫理部部長 <9章3節>			

身の回りにある「法と制度」 ●MAP② 看護師の一日と法律の関わり

NAVIGATION "?"を解決!「法と制度」の入口 ●TOPICS 知っておきたい!注目の「法と制度」キーワード

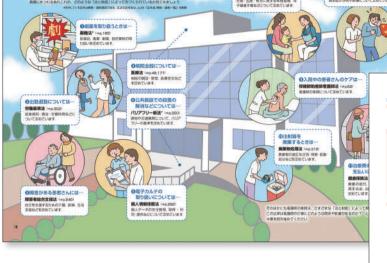
●MAP③ 看護基礎教育と本書で解説する主な法律とのゆるやかな対応 ●特設 『看護をめぐる法と制度』ナビゲーション

第1部●保健医療福祉と法の関わり方

第1章●チーム医療と法の構造

医療スタッフに関する法の枠組み/医療スタッフの業務分担と連携に関する法の枠組み

第2章●医療提供の理念と医療安全:医療法での扱い 医療法の歩み/医療提供の理念/医療安全/医療法の理念と実際



法改正や最新の社会情勢などに基づいて 情報をアップデート!



第2部●看護をめぐる法

●MAP④ 看護をめぐる法体系

第3章 人に関する法律

(保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律、医師法、歯科医 師法,薬剤師法,診療放射線技師法,臨床検査技師等に関する法律,理学療法士及び 作業療法士法、視能訓練士法、臨床工学技士法、義肢装具士法、救急救命士法、言語 聴覚士法、歯科衛生士法、歯科技工士法、あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう 師等に関する法律/柔道整復師法)

- (精神保健福祉士法、社会福祉士及び介護福祉士法)
- 3 非医療·非福祉専門職
- (栄養十法, 公認心理師法)

第4章●物・場所等に関する法律 1 物に関する法律

(医薬品, 医療機器等の品質, 有効性及び安全性の確保等に関する法律, 麻薬及び向 精神薬取締法、あへん法/大麻草の栽培の規制に関する法律/覚醒剤取締法)

2 場所に関する法律

(医療法, 高齢者住まい法, 感染症法, 予防接種法, 墓地, 埋葬等に関する法律, 健 康増進法, 学校保健安全法)

第5章●支えるシステムに関する法律

1 お金で支えるシステムに関する法律

(健康保険法, 国民健康保険法, 高齢者医療確保法, 介護保険法)

2 社会が支えるシステムに関する法律

(生活保護法, 母体保護法, 母子保健法, 精神保健福祉法, 心神喪失者等医療観察法, 障 害者基本法 障害者総合支援法 身体障害者福祉法 知的障害者福祉法 発達障害者支援 法 児童福祉法 児童虐待防止法 母子及び父子並びに寡婦福祉法 困難な問題を拘える 女性への支援に関する法律、DV防止法、老人福祉法、高齢者虐待防止法、難病医療法)

第3部●看護をめぐる政策

●MAP⑤ 政策に関わる基本法等の関連法令

第6章 政策に関わる基本法等の関連法令

医療政策に関する法律

(社会保障制度改革推進法、社会保障改革プログラム法、地域における医療及び介護 の総合的な確保の促進に関する法律、地域保健法、がん対策基本法、がん登録推進 法、循環器病対策基本法、肝炎対策基本法、食育基本法、アレルギー疾患対策基本 法、アルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法)

より歯科技工士名簿に登録されることによって与えられる (6条1項). これに よって維料技工を業として行うことができる。なお相対的欠格事由のどれかに 当てはまる場合には、免許が与えられないことがある(4条)。厚生労働大臣

2 今日的な支え合い政策に関する法律

(自殺対策基本法、成育基本法、こども基本法、認定こども園法/子ども・子育て支援法、 認知症基本法、成年後見制度の利用の促進に関する法律、任意後見契約に関する法律)

- 3 災害政策に関する法律 (災害対策基本法, 災害救助法)
- 4 情報政策に関する法律
- (個人情報保護法制,次世代医療基盤法)
- 5 食品安全政策に関する法律
- (食品衛生法,食品安全基本法,食品表示法)
- 6 少子高齢政策に関する法律 (高齢社会対策基本法, 少子化社会対策基本法, 次世代育成支援対策推進法)
- 7 労働政策に関する法律
- (労働基準法, 労働契約法, 労働安全衛生法, 労働者災害補償保険法, 男女雇用機会 均等法,育児·介護休業法,過労死等防止対策推進法,雇用保険法)
- 8 ジェンダー政策に関する法律
- (里女共同参画社会基本法 女性活躍推准法)
- 9 環境政策に関する法律

(環境基本法,公害健康被害の補償等に関する法律,廃棄物処理法,環境衛生に関す る営業・建物の衛生分野)

第4部●法制度を取り巻く考え方

第7章●インフォームドコンセント IC/意思決定支援/ICと意思決定支援/ICと意思決定支援のこれから

第8章 看護過誤(医療過誤)

医療事故と医療過誤/三つの法的責任

第9章 法と生命倫理

生命倫理総論/生命倫理各論/研究倫理

2025年10月現在の情報です。日次等は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。